

屋久島 宮之浦岳 山行報告

【山城・山】 屋久島 白谷雲水峡～宮之浦岳～淀川登山口

【形式】 避難小屋泊り縦走

【日程】 2018年11月3日(土)～4日(月)

【参加者】 CL 岸野 SL 堀田 会計 宮城 記録 吉瀬

【行程】

2日 羽田空港→鹿児島空港…鹿児島本港-(高速船)-宮之浦港-(バス)-宮之浦 (泊)

3日 宮之浦の民宿 5:30-TAXI-白谷雲水峡 5:55=6:55 白谷山荘 7:15=7:55 太鼓岩 8:25=9:15 楠川分れ=小杉谷山荘跡=11:00 大株歩道入口 11:15=11:40 ウイルソン株 12:15=13:20 縄文杉 13:50=高塚小屋=新高塚小屋 15:15 着(泊)

4日 新高塚小屋 4:45=平石岩屋=7:50 宮之浦岳 8:15=10:50 花之江河 11:20=12:50 淀川小屋 13:15=14:05 淀川登山口=14:25 紀元杉 14:55 発バス-安房-宿(泊)

5日 屋久島観光-安房港-(高速船)-鹿児島本港…鹿児島空港→羽田空港

【報告】

2日(金) 7:10 羽田発鹿児島行き ANA619 便に搭乗後、整備トラブルが判明し約1時間半遅れて離陸。予約済み高速船の変更等Mさんのおかげで無事屋久島に上陸。素泊まり民宿は「新しい」「清潔」「お安い」の三拍子。民宿近くのAコープで山行中の食材を調達後、食事した店で『今晚の新高塚小屋は韓国からの登山者が20名余りとそれ以外の登山者で60名収容の避難小屋は混雑している。』という情報を得る。

3日(土) 白谷雲水峡に向かう途中から霧雨が降り始める。

白谷雲水峡入口で世界自然遺産屋久島山岳部環境保全協力金一人2,000円を支払い入山。まだ暗いがCLの1,000ルーメン・Mさんの600ルーメンの明るいヘッドランプのおかげでとても歩きやすかった。霧雨が止み辺りが明るくなり始めた頃白谷山荘に着く。トイレブースあり。

小杉谷山荘跡にバイオトイレあり。

安房森林鉄道の道は木立の中のゆるやかな登り。途中2匹の子猿が走ってきた。『CLに抱きつくのか?』と思いきや直前で林の中に消えた。子猿さんにもホテルのね。大株歩道入口の水場は水量が多く、トイレも水洗。

ウイルソン株でゆっくりコーヒータイム。この辺りは荒川登山口から入山した沢山の

ハイカーで賑わい、まるで尾瀬のよう。縄文杉を見ながらまどろむ。

CLの目算どおりの時刻に新高塚小屋に到着。すでに先客が十数人いたが、小屋の1階の片隅を確保。CL・SL・Mさんが担ぎ上げた食材を食担兼務のCLが調理。皆で美味しくいただき、早めに就寝。 *小屋手前の登山道わきの水場の水量は少なかった。

4日(日) 夜中に雨が降り始めた。前日の行動時間を踏まえ出発時刻を45分早め、手早く朝食を済ませて出発。雨がシトシト降っていたので平石岩屋まで休憩なし。

平石岩屋手前で樹林帯が終わり、笹原に大きな奇岩がごろごろしている山並みが広がる。雨も止んだ。高いところがお好きなMさんHさんはスイスイと大きな岩に登ってうれしそう。雨粒のついた笹で濡れなうようカッパのズボンをはく。宮之浦岳頂上でゆったりとした山なみを見ながら休憩。安房岳までにはいろいろな形の奇岩がいっぱい。モアイ?クジラ?ゴリラ?

すれ違う登山者がMさんのザックの大きさに驚く。

黒味岳の頂上に人がいるのが見えるが今回は我慢。淀川小屋に向かうにつれ、苔むした森になり、またしてもCLの目算どおり14時過ぎに淀川登山口に到着。バス停近くの紀元杉をゆっくり見て、14:55発の最終バスに乗る。名残惜しくて車中から何度も振り返った。

夜、宿から満天の星空を見た。

5日(月) 最終日シーカヤックで海からモッチョム岳・トローキーノ滝を眺め屋久島を後にした。



コースタイムが8時間以上の避難小屋泊縦走。荷物が重く

なると著しく速度が落ちてしまう私をカバーし、目標達成のためにコッヘル・食材等の共同装備すべてをCL・SL・Mさんが負担してくださいました。

飛行機・高速船・宿泊先すべて手配してくださったMさん。

現地で計画がうまく進むように臨機応変に判断しつつ、ゆったりとリードしてくださったCL・SL
どうもありがとうございました。

屋久島山行情報

①登山道はとても整備されている。

②携帯トイレ…携帯トイレブースで使用。登山口まで携帯し、分別して廃棄。

③ガスカートリッジ…宮之浦港売店・地元スーパーで販売あり。

④素泊まり民宿『海舟』…築3年・1泊3,300円・風呂あり・隣にAコープあり



 活動距離	22.20km
 高低差	1,310m
 平均速度	1.07km/h (1.44km/h)

